

## 住みたくなる川越町にしよう！ 川越高校ワークショップの開催結果報告

### 若者が住み、働きたくなる川越町にするためのワークショップを開催！

未来を担う高校生の皆さんと一緒に、若者が住み、働きたくなる川越町とするために、どんなことが必要かを考えるワークショップを開催しました。

■日時：平成29年2月7日（火曜日）午後2：30～5：00

■会場：川越町役場3階 303会議室

■参加者：川越高校の生徒（10名）

■プログラム

1. 開会
2. アイスブレイク～川越町自慢！～
3. 川越町への定住志向
4. 川越町の現状と将来予測
5. 若者が住みたくなる川越町にするために【グループワーク】
6. 発表
7. まとめ



### はじめに

川越高校の1年生2名、2年生8名が集まり、5名ずつの2グループに分かれて、若者が住みたくなる川越町について考えるワークショップを行いました。

### 川越町自慢！～川越町のイメージ、魅力は？～

最初にウォーミングアップとして、自己紹介を兼ねて、川越町のイメージや好きなところ、よく行く場所などを順番に話し合っていました。

「交通の便が良い」、「国道1号に飲食店が沢山ある」、「駅や役場などの建物が綺麗」、「自然が沢山ある」、「子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人達が交流している」という良いイメージと、「高校までの交通の便が悪い」、「高校のまわりにコンビニがない」などの意見も出されました。

### 川越町への定住意向～川越町で住み、働きたいですか？～

将来的に川越町で住み、働きたいかを生徒からそれぞれ発言していただきました。

「川越富洲原駅など、交通の便利なところに住みたい」、「自然も多く、お店もあり、交通の便が良い川越町の駅やバイパスに近いところに住みたい」、「津波の心配があり、海から離れた高台に住みたい」などの意見がありました。

また、働く場所では「駅から近いなど、通勤しやすいところ」、「都会」、「川越町で働きたい」、「色々な世代の人と関わるところで働きたい」など、様々な意見がありました。



### 若者が住みたくなる川越町にするためには？

まず、各自で「①若者が住み、働くために必要なことは？」、「②その中で、若者が取り組みそうなことは？」ということで様々なアイデアを出していただきました。

その後、グループみんなで話し合い、協力しながら一つの成果を作り上げていきました。

【グループ名：Top Team Most Kawagoe Five】

①若者が住み、働きたくなるために必要なこと

- 勉強ができるカフェ
- 若者の興味をひくお店
- 街灯・ミラーの設置
- ご当地キャラの制作

②若者提案プロジェクト

#### ◆ご当地キャラを作る！

- ・ポスターや広報でキャラクターを募集する。  
⇒例えば、「でんきくん」
- ・ご当地キャラの着ぐるみやグッズなどを、様々な町内のイベントに取り入れていく。  
⇒回覧板にプリントしたものを入れる。

#### ◆川越テラ46をもっと宣伝！

- ・駅や学校などにポスターを貼る。
- ・SNSを使った宣伝  
⇒facebook、Instagram、twitter、LINE

#### ◆ホームページをもっと若者が興味を持つように改善！

- ・駅にポスターを貼って宣伝

#### ◆パトロールを行う！

- ・大勢で見回りをしたら若者でも安全  
⇒高校生のボランティアも募る。

#### ◆若者が興味のあるイベントを行う！

- ・川越GO（ウォークラリーを行う）
- ・バブルラン（ウォークラリーを行う）
- ・川越〇〇大会（競技）
- ・スイーツ展を開く（祭り）

#### ◆アウトレットのような店を作る！

#### ◆芸能人を呼ぶ

#### ◆小規模の遊べる場所



【メンバー】

福井 聖理さん、河合 彩水さん、宮澤 理沙さん、竹田 くるみさん、寺尾 美紅さん

【グループ名：たけのこ】

①若者が住み、働きたくなるために必要なこと

- 駅周辺に遊べる所や住める所を増やす
- イベントを開催して他の地域から人を呼ぶ
- 災害対策をする
- 子どもが楽しむことができる企画を考える
- 子育てしやすい環境にする



②若者提案プロジェクト

- ◆ イベントについて
- ・ 住民が主催で企画を考える。
  - ・ 運営も住民が行う。
  - ・ 交通の便が良い場所を選ぶ。  
⇒ 屋台・フェスなど

- ◆ 子どもプロジェクト
- ・ 地域の子ども会でポーリングなど、楽しめる企画を開催する。
  - ・ 回覧板に小さい子どもが遊べるぬりえなどをはさむ。

- ◆ 災害対策プロジェクト
- ・ 避難訓練への参加を促す。
  - ・ 家族で参加できる防災についてのイベントを行う。

- ◆ 子育てプロジェクト
- ・ 家の近くに安心して預けられる施設があると良い。
  - ・ 公園など気軽に遊べる場所を作る。



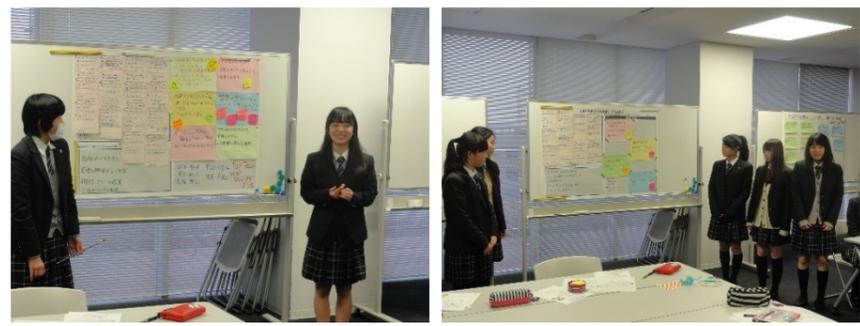
【メンバー】  
伊藤 千晴さん、大橋 優里香さん、河瀬 歌恋さん、樋口 弓夏さん、山崎 花菜さん

発表！・まとめ

生徒たちで作った成果をグループごとに副町長、教育長、企画情報課長、川越高校教頭先生の前で発表しました！

副町長からは、「女子高生の観点からのおしゃれなお店などのアイデアだけでなく、防災や防犯など身近な町の問題について提案が良かった」とコメントがありました。

教育長からは、「このような場に参加するのは初めてだったと思う



が、まちづくりは行政や政治家に任せるのではなく、町に住んでいる人の意見が重要になるため、今日の提案はヒントになる意見も多くあった。「提案が実現につながる」と皆さん自身が感じてもらえると思う」とコメントがありました。

教頭先生からは、「日頃から、勉強での知識だけでなく、現場で活用していく力が必要であると伝えているが、このような場を生徒に与えていただき、いい経験になったと思う」とのコメントがありました。また、「提案の中に勉強できるカフェがあったが、学校ではない場所で、高校生、中学生、小学生が集まって勉強でき、場合によっては高校生が小中学生に教えるなど、交流ができると素敵なカフェになると思った。また、川越富洲原駅で学生も参加して面白いことができると良いと思った」とコメントがありました。

町長への提案！

後日3月15日（水）に参加した生徒達で作った「住みたくなる川越町にしよう！」を城田町長へ提案しました！

町長からは、若者の目線で色々とフレッシュなアイデアが提案され、これら全部を実施できるといいが、その中でもテラ46など川越町の魅力をもっとPRしていくこと、町のホームページも見やすく、わかりやすいように改善していくこと、防災に対する不安を少しでもなくすように安心安全のまちづくりに力を入れて取り組んでいくこと、これからは若い人が住みやすく、働きやすく、子育てしやすい、優しいまちづくりをしていく、ことなどをお礼の言葉も含めて述べられました。

生徒からは、まちづくりを考えるいい機会となり、自分達でできることは何だろうと考えて提案したが、今後は今回提案したイベントなどを実際に企画し、運営してみたいなどの感想が述べられました。

最後に全員で集合写真を撮って終了となりました。

